

第19号様式

(表)

診療用放射線照射器具設置予定届(その1)

年 月 日

(宛先)名古屋市長

病院又は診療所 所在地  
 名称  
 管理者氏名

物理的半減期30日を超える診療用放射線照射器具を設置しますので、医療法施行規則第27条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 診療用放射線照射器具に関する事項	放射性同意元素の種類			
	放射性同位元素の物理的半減期			
	型	式		
	1個当たりの数量及び個数			
	放射性同位元素の数量			
2 診療用放射線照射器具を使用する医師、歯科医師又は診療放射線技師の氏名等	氏名	職	種	
			放射線診療に関する経歴	
3 予定使用開始時期		年 月 日		
4 診療用放射線照射器具使用室の放射線障害の防止に関する構造設備のあらまし	使用室の天井、床、壁、出入口の扉、窓等の遮蔽			
	出入口の数			
	使用室であることを示す標識			
5 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備のあらまし	貯蔵施設の種類			
	貯蔵施設の遮蔽			
	貯蔵施設であることを示す標識			
	受皿・吸収材等の汚染拡大防止設備			
	貯蔵室の場合	主要構造部の構造		
		出入口の数		
		防火戸		
		閉鎖設備		
貯蔵箱等の場合	貯蔵箱等の構造			
	閉鎖設備			

(裏)

5 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備のありまし	貯蔵容器	貯蔵容器		
		容器の遮蔽		
		貯蔵容器であることを示す標識		
		貯蔵する放射性同位元素の種類・数量の表示		
6 運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備のありまし	運搬容器の遮蔽			
	運搬容器であることを示す標識			
	運搬する放射性同位元素の種類・数量の表示			
7 放射線治療病室の放射線障害の防止に関する構造設備のありまし	放射線治療病室の天井、床、壁、出入口の扉、窓等遮蔽			
	治療病室であることを示す標識			
8 診療用放射線照射器具使用室等の放射線障害の防止に関する予防措置のありまし	管理区域	管理区域の設定		
		立入制限措置		
		管理区域であることを示す標識		
	注意事項の揭示等	注意事項の表示		
		敷地内居住区域及び敷地境界の放射線量		
		患者 1.3mSv/3月(診療により被ばくする放射線を除きます。)以下となる障害防止構造		
		放射線診療従事者等の被ばく線量測定器具		
診療用放射線照射器具により治療中の患者への標識				

(併せて提出する書類)

1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射線照射器具使用室、貯蔵施設及び治療室の平面図及び側面図

2 遮蔽計算書

記入上の注意

- (1) 管理区域を明示してください。
- (2) 線源の中心から画壁等の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入してください。
- (3) 画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、通常の場合の最大量の使用状態を想定したときの計算値とその計算式を記入してください。計算責任者の所属、職及び氏名を記入してください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。